

事務事業マネジメントシート (21年度実績と22年度計画)

22年度予算確定後 平成 22 年 3 月 24 日 作成
 21年度決算把握後 平成 22 年 5 月 31 日 作成

事務事業名		後期高齢者健診事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり			所属部	健康福祉部	課長名	後藤博康
	施策	15	健康づくりの推進			所属課	高齢者支援課	担当者名	衛藤京子
	基本事業	46	保険医療制度の健全な運営			所属班	高齢者保険班	(内線)	2115
予算科目	会計	款	項	目	事業連番	法令根拠	高齢者の医療の確保に関する法律		
	1	3	1	13	11250		成果優先度評価結果	1	
							コスト削減優先度評価結果	1	
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 21年度で終了 <input type="checkbox"/> 22年度から開始		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 20 年度)					
				<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)					

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細、期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】	本事業は医療保険制度の改正により、平成20年度より老人保健制度に代わり後期高齢者医療制度が開始されることによる新たな事業である ・原則75歳以上を対象とした後期高齢者の健診事業の実施・鍼灸費の補助(1人当たり年間30枚交付、1枚あたり1,000円を補助) ・後期高齢者医療制度においては、健診事業は医療費適正化を図るために必要である。 ・後期高齢者への人間ドック補助を廃止したことから、健康推進班と連携し基本健診やがん検診等の受診を呼びかける。
【業務の流れ】	健診機関である菊池養生園と委託契約を行い、健診申込者に問診表を送付する。健診費用の請求がまとめて(年1回)国保連合会よりあるので、その支払いを行う。
【主な予算費目】	・健診関係事務費、委託料等13,214千円、鍼灸補助費1,320千円
【意見や要望】	・後期高齢者医療制度においては、健診事業は医療費適正化を図るために必要である。 ・国保の被保険者のみ人間ドックの補助があるので、後期高齢者の人間ドック補助を求める要望が市民から多数ある。 ・平成22年9月の健康福祉常任委員会において「問題点を挙げながら、(3)改革・改善を実施する上で解決すべき課題とその解決策に記入がない。評価して次の計画や事務事業の改善につなげる必要がある。」という指摘があった。
関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	

1 現状把握の部(DO, PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標	
① 手段(主な活動) 21年度実績(21年度に行った主な活動)(DO)	22年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
健診希望者708名に対して、5月初旬に問診表を送付し、養生園で健診を6月より開始しました。	健診希望者519名に対して、5月初旬に問診表を送付し、養生園で健診を5月下旬より開始する予定である。
④活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標	(単位)
→ア:申し込み書発送数	件
② 対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	⑤対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標 (単位)
・後期高齢者医療被保険者	→ア:被保険者数 人
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	⑥成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標 (単位)
・健診の実施により疾病の重病化を防止する。	→ア:健診の受診者数 人
*⑥成果指標設定の理由と平成22年度目標値設定の根拠	
意図が「健診の実施により疾病の重病化を防止する」になっていることから、多くの人が受診することによって、重病化を防止するため。また、高齢化に伴い、75歳以上の高齢者が増加することが予想されるため。	

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	19年度実績(決算)	20年度実績(決算)	21年度目標(当初予算)	21年度実績(決算)	22年度目標(当初予算)	23年度予定	24年度見込	
④ 活動指標	ア 件			800	750	708	750	750	800	
⑤ 対象指標	ア 人			5323	5200	5205	5300	5400	5500	
⑥ 成果指標	ア 人			770	750	981	1100	1200	1300	
投資入量	事業内訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円		3,884	8,982	5,823	4,000	4,200	4,400
		繰入金	千円							
	人件費	一般財源	千円		544	840	880	600	650	700
		(A) 事業費計	千円	0	4,428	9,822	6,703	4,600	4,850	5,100
		(A)のうち指定経費	千円							
		(A)のうち時間外、特勤	千円							
		正規職員従事人数	人		2	2	4	4	4	4
延べ業務時間	時間		110	110	641	641	641	641		
(B)人件費計	千円	0	440	438	2,551	2,551	2,551	2,551		
トータルコスト(A)+(B)	千円	0	4,868	10,260	9,254	7,151	7,401	7,651		

総トータルコスト	
全体計画	
～ 年度	
(期間限定複数年度のみ記載)	0
	0
	0

事務事業名	後期高齢者健診事業	所属部	健康福祉部	所属課	高齢者支援課
-------	-----------	-----	-------	-----	--------

2 評価の部 (SEE)

*原則は21年度の事後評価、ただし複数年度事業は21年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①21年度目標達成度評価 事務事業の前年度実績は前年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した	<input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】 ↷
	②22年度目標達成見込み 事務事業の本年度目標値に対して本年度の見込みはついているか？	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】 ↷
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 ↷
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ↷ (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 ↷
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ↷
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託できないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ↷
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 ↷
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事務事業のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行出来ないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 ↷

3 評価結果の総括 (SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

後期高齢者医療の被保険者の多くはかかりつけの病院があり、その為健診を受けない方も多い。しかし、定期的に健診を受けることにより、疾病の重症化を防ぐことができ重要性がある。未受診者への呼びかけや、受診者への健診結果の説明等のケアも必要である。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>△</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td>▽</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持			△	低下			▽
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上		○																			
	維持			△																		
	低下			▽																		

(3) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策

健診結果説明会の実施、近くの医療機関でも受診できるよう医師会への委託の検討。